

港区埋蔵文化財包蔵地(遺跡)分布図 (令和5年3月31日現在)

港区は、江戸時代以降、都市として特に発展した地域で、現在のまちは、江戸城下町の上に築かれているといえます。従って、明らかに地下掘削が行われた形跡のない土地で新たに掘削工事等を行う場合は、遺跡が発見される可能性が極めて高いと言えます。また、寺院が建て込んでいた区域では人骨が出土することが考えられますので、十分ご注意ください。

凡 例	
	範囲未確認遺跡
	古 墳
	横 穴 墓
	上水木樋
	範囲確認遺跡
	国指定の史跡等です。周辺で開発等を計画される場合は、特に注意が必要です。
	江戸時代の屋敷や社寺地等の推定範囲です。周知の埋蔵文化財包蔵地ではありませんが、敷地の一面で遺跡が発見されており、周辺で開発等を行う場合は注意が必要です。
	江戸時代の海の範囲

